

いぶき

題字：吉田 敬徳

2022年度 一般社団法人 小樽青年会議所 スローガン

輝く未来へ！
～ 共に一歩を踏み出そう～



- 事業報告
- 出向者報告
- 事業予告
- 新会員紹介



理事長
よしだ たかのり
吉田 敬徳

ご挨拶

時の流れは早いもので、二〇二二年度が始まってから五カ月が過ぎ、もうすぐ折り返しを迎えようとしています。皆様には日頃より一般社団法人小樽青年会議所の活動や運動に深いご理解と多大なるお力添えをいただいておりますこと、心より御礼を申し上げます。

北海道地区大会について

四月十五日に行われました臨時総会において、二〇二四年度に行われます第七十三回北海道地区大会を小樽へ誘致することが全会一致をもって可決承認されました。北海道地区協議会での審議は八月の会員会議所協議となりませんが、承認されますと二〇一四年度に行われました第六十三回北海道地区大会小樽大会以来、十年ぶりの小樽開催となります。まずは地区大会誘致の承認をいただけるよう準備を進めるとともに、LOM内の士気を高め、二年後の実施に向けてメンバー一同邁進していく所存であります。

オタルサマーフェスについて

今年度は小樽市が誕生してから百年という記念すべき一年であります。年間二千人ペースの人口減をはじめ、多くの課題を抱えております。そのなかで、この市制施行百年に際し、小樽青年会議所と小樽に関わりがある二十代から四十代の方々と一つの実行委員会を設立し、これまでの百年の歩みをこれからの百年へとつなげるため、七月三十日(土)・三十一日(日)にオタルサマーフェス2022という事業を実施する予定になっております。この事業は歴史的建造物が多く立ち並ぶ日銀通りや小樽運河を会場に開催し、小樽の歴史や景観、そして小樽独自の魅力、小樽市民、特に未来を担う若者に伝え、未来へ向けた小樽の可能性を感じていただくために実施致しますが、小樽青年会議所としても四つの部会を担当し、全メンバーが一丸となって準備を進めているところであります。小樽青年会議所、そして小樽を思う若者が力を合わせたオタルサマーフェス2022実行委員会というつながりは、互いの長所を合わせることで大きな力を生み出すことが可能となり、事業の成功だけではなく、事業後も小樽に山積する課題を解決していくきっかけになっていくと確信しております。JCIBビジョンの和訳は「青年会議所が、行動を起こす青年の国際的ネットワークを牽引する」であります。小樽青年会議所から声を発したことにより実行委員会が組織され、オタルサマーフェス2022の準備がスタート致しましたが、今後も実行委員会の中で小樽青年会議所の存在感を示し、事業を牽引してまいりたいと考えております。

会員拡大について

LOMの中の新たなつながりとして、今年度は7名の新会員を迎えております。青年会議所は人生最後の学び舎と言われ、青年会議所でしか得られない経験や学びが数多くございます。二〇二二年度としても、まだまだ多くの新会員を迎え、一人でも多くの仲間と共に歩んでまいりたいと考えておりますので、皆様の身近に入会該当者がいらっしゃいましたら、その方へ成長の機会を与え、輝く人材へと変わっていくきっかけとしていただければ幸いです。ともご推薦をいただければ幸いです。

やむを得ない

二〇二二年度も残り半年間となりましたが、オタルサマーフェス2022のほか、三年ぶりに通常開催されますおたる潮まつり、郷土愛育成委員会のオープン事業をはじめ、多くの事業が今後予定されており、輝く未来へ！共に一歩を踏み出そう！のスローガンのもと、一度しかない二〇二二年度、一度しかない機会を大切に過ごし、輝きあふれる小樽を創造していくために、メンバー共々、青年会議所の活動や運動に邁進してまいります。皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様の益々のご健康とご発展をご祈念申し上げます。

1月第一例会



1月8日に定時総会及び新年懇親会を開催致しました。新年懇親会の設え担当は、委員会方針でもあります敬意と感謝の思いを伝える事業の実施をもとに、小樽JCのメンバーの繋がりを強固にする展開をする、柴田委員長率いる「組織力向上委員会」です。2年振りのお開催となった新年懇親会に多くのご来賓の皆様、シニアクラブの皆様、各地青年会議所メンバーの皆様にお越しいただき、今年度小樽青年会議所の方針を第68代吉田敬徳理事長より発表させていただきました。共に、新年を共に祝い、御礼申し上げます。御礼申し上げます。

第1回新会員セミナー

1月27日妙源寺にて、青年会議所についての知識向上を目的として、第一回新会員セミナーを開催致しました。この日より、まん延防止等重点措置が適用されましたが、対面で行うことに重きを置き新会員アカデミー塾スタッフと、新会員のみの制限を設けた参加とし、第一部のプレゼンテーション「青年会議所の目的と基礎知識」のみの縮小開催と致しました。当日は新会員6名全員出席し、青年会議所についての知識を向上したうえで、2月第一例会（雪あかりの路）新会員担当による、コロナ禍で疲弊している小樽市民に向けての「メッセージ付きオブジェ制作」へ弾みをつけることが出来ました。



2月第一例会



新型コロナウイルスが猛威を振るい、まん延防止措置の中でありましたが、2月11日から13日の間に雪あかりの路2022へ参画致しました。アカデミー塾生を中心に小樽駅前にてオブジェを制作、展示し、広げよう笑顔の輪！あなたが笑えばみんなも笑うというメッセージボードを灯させていたいただき。また、昨年行ったフォトコンテストをJCメンバーで実施し、家庭や職場であかりとなり、ろうそくの灯りを市内全体に広げました。市内全体が暗いムードに覆われていましたが、

雪あかりを見て立ち止まってくれる方や応援していただいた市民の皆様のおかげで無事終了することができました。多くの方々に協力いただき、心より感謝申し上げます。

3月第一例会



3月15日、朝里川温泉ホテルにて橋本委員長率いる郷土愛育成委員会による3月第一例会「Otaruアナザーストーリー」歴史を知り、新たな小樽の魅力を磨き上げよう」を開催しました。第一部で小樽から朝里につなぐ歴史を学び、第二部では小樽・朝里まちづくりの会副会長、中一夫様をお招きして小樽のまちづくりの歴史や朝里エリアの魅力、海と山に囲まれた朝里の持つ可能性を情熱

溢れるご講演をいただきました。メンバー一同まちづくりに対しての気持ちとまなざしが変わった一日でした。また、本年度入会の新会員、山際君が会長、佐藤君が副会長となり会名「帛銕（こてつ）会」が発表されました。



第二回新会員セミナー

3月28日、小樽市役所別館第2委員会室にて、6月第二例会（道南エリアスポーツ大会）の新会員担当によるLOMPRへの意識向上を目的として「第二回新会員セミナー」を開催致しました。第一部では前回の新会員セミナーの復習として「対内の委員会とJC活動、対外の出向と遠征について」を行い、第二

部では天野外部監事を講師としてお招きし「JCだからできる経験や体験から得られるもの」について、天野外部監事の経験をもとにアツくご講演いただきました。本セミナーも新会員7名全員出席し、講師と懇親会も行うことで、質疑応答の時間を多く設けることが出来、LOMPRへの意識向上につながり、新会員全員でLOMPRに向けて励んでいる状況です。



4月第一例会

4月8日、小樽商科大学にて平松委員長率いる総務広報委員会主催の4月第一例会効果的な広報演出と個性の発信」を開催しました。紙・動画・SNSといった各メデ

IA別による広報効果の特徴と効果的な発信方法を学び、講師にLGBTQの認知向上を小樽市内で行っている小樽プライド委員会代表、高橋祐一様・宮田賢人様を招聘し、性的少数者が個性を発信してマインオリテイから市民権を得るまでの歴史や、個性を発信することで社会に与えてきた影響の講話をいただきました。個性を発信することが広報に結びつき、発信方法を効果的に行うことで他者に認知していただくというテーマのもと、オプザーブの皆様や小樽商科大学にもご協力いただきました。成功裡に終わることが出来ました。



ポイ捨て防止！ 街をきれいにし隊

4月16日に、小樽市の活動に小樽青年会議所も参加させていただきました。ゴールデンウィークの観光シーズン前にサンモールから運

河周辺まで、清掃活動を行いました。2年間、このような清掃活動が出来ていませんでしたが、感染対策に留意しながら今後も小樽の街を綺麗にする活動に取り組み参ります。



4月オープン委員会



4月21日、ウイングベイ小樽内オタルボウルにて、組織力向上委員会主催によるオープン委員会小樽JCボウリング大会2022を開催しました。日頃の運動不足を解消し、チーム対抗戦でメンバー間の交流を楽しみました。

5月第一例会



5月18日、小樽市公会堂にて三役主催の5月第一例会過去から未来へつなぐ、まちづくりの思い」を開催しました。7月30・31日に開催されるオタルサマーフェス2022の実行委員会メンバーもオプザーブとして参加していただき、サマーフェス開催に至る歴史、小樽のまちづくり運動の歴史を学び、パネリストとして久末智章

先輩にご臨席いただき、サマーフェス実行委員長であった時代の貴重なお話や、まちづくりに対する思い、これからの小樽を活性化させる展望をたっぷりと聞かせていただきました。小樽青年会議所メンバーも7月に行われるサマーフェス運営に関わり、当日までに向けて着々と準備を進めています。どうぞご期待ください。

第三回新会員セミナー



5月19日、妙源寺にて、テーマを「JCの基本理念と運動の本質」持続可能な組織になるために」と題し、理念共感拡大会議議長 松岡一樹くん(JCI美唄)を講師としてお招きし、新会員を初めとする全メンバーを対象に今後のJC活動に対しての意識向上を目的として開催致しました。JCの基本理念について、その他に、会員拡大が困難に

なってきた状況の中で必要なことや、地域に必要とされる持続可能な組織になるために何をすべきなのかなどを、講師からご講演いただき、新会員のみなさん今後のJC活動に活かせるセミナーとなりました。

北海道地区協議会

出向者報告①

理念共感拡大会議

副議長 伊藤晴竹

日本青年会議所北海道地区協議会理念共感拡大会議ではJCの理念の浸透と若者への共感から、各LOMの会員拡大につながるサポートをしております。主に拡大状況の集計や各LOMの拡大担当者とのミーティング、そしてアカデミー教育に関するセミナーなどを開催し広める活動を行っております。3月26日には地区アカデミーを美唄青年会議所のご協力により、道央エリアメンバー対象にZOOMで開催いたしました。今後は道南、道東、道北エリアと広げていく次第でございます。現在調査をしていまして現在調査をしております。5月19日に小樽青年会議所の第三回新会員セミナーにて、テーマ「JCの基本理念と運動の本質」持続可能な組織に

なるために」と題し、当会議の松岡一樹議長が講師としてセミナーに参加いたしました。2022年度も半年が過ぎましたが、出向先での人とのつながりや、理念教育についても勉強させていただき、残りの半年を駆け抜けてまいります。



出向者報告②

新たな資本主義

創造会議

委員 山本将之

今年度、新たな資本主義創造会議では青年経済人が主役となり、経済をアップデートするため、会議体が目指すべき姿として、自社と社会の利益を両立し、企業が

関わる全てのステークホルダーとの調和を図りながら、成長と分配によって経済が持続的に好循環する社会を目指し、ステークホルダー資本主義を推進しております。新しい資本主義実現会議との連携をすることで、日本政府が創る新たな資本主義の枠組みの中に、我々中小企業の声を反映させていきます。新たな資本主義を実現するために青年会議所会員企業への社会実験を行い、エビデンスを収集している所です。社会実験として八方よし経営塾を全4回開催し、車座対話を各地で実施しております。また、金融機関や金融有識者と連携し、新たな資本主義に取り組む中小企業と金融機関が協創出来る策を議論していきます。残り半年間少しでも吸収出来る様に活動してまいります。

出向者報告③

総務運営委員会

委員長 遠藤雅光

本年、北海道地区協議会総務運営委員会委員長として、出向させていただいております。総務運営委員会は、全道各地から総数22名のメンバーをお預かりしており、そんな大所帯で委員長をさせていただいております。とに日々成長を感じております。我々は、北海道地区協議会、全道44LOMの運動がより一層邁進できるように、下支えする



委員会であり諸会議の運営、議事録の作成、アジェンダシステムやスケジュール管理、渉外業務が例年の担いとなっていました。が、本年はそれに加え、大役を任されることとなりました。それはASAPAC(環太平洋アジア大会)で出展をするミッションでした。4年振りの日本開催は大阪府の堺市と高石市でありました。未だコロナ禍であり、数国の参加ではありましたが、5月28日の当日は天気に恵まれ北海道のソウルフードであります「ジンギスカン」を国内外の皆様に振舞うことができ、しっかりと北海道ブランドをPRできたかとおもいます。最後になりましたが残り半年間も小樽の代表としてしっかりと地区役員という大役を楽しく、真面目にこなしていきたいとおもいます。

出向者報告④

北海道地区協議会

副会長 阿部一雄

2022年度の道南エリアは昨年度に日高中部青年会議所が解散をし、小樽を含めた12の青年会議所で構成されております。現在全国的な会員数の減少はもとより、各地の青年会議所自体の存続も危ぶまれており、道南エリアにおいても会員数が20名を切っている青年会議所が8つある現状となっております。これは青年会議所が40歳までという新陳代謝がもたらす特徴でありながらも在籍年数の短期化が進んでいることもあり、ほんの1、2年で一つの青年会議所自体が解散へと家事を切ってしまう可能性もはらんでおります。その危機感から具体的な支援の一つとして、会員拡大を見越したまちづくり事業を行おうとしているが、実働人数が障壁となり事業自体の実施が困難となっている青年会議所へ、道南エリア運営会議メンバーを中心に人的支援を行う計画など、できることを進めているところであります。

本役職を経験させていただいていることで各地の青年会議所の特色や課題を把握し、青年会議所の強みであるネットワークを生かし道南エリア、そして小樽青年会議所の発展に寄与していく所存です。

2022年度事業予告



2022年度、郷土愛育成委員会の委員長を務めさせていただきます。海・山・川に囲まれた豊かな自然環境、古くから北海道開拓、北前船、国際貿易の拠点として歴史と文化を形成してきたまち小樽は、道内有数の観光都市です。しかし、そんな豊富な資源を持ちながらも人口減少に歯止めがかからず、過去の歴史は「あまり聞いたことがない」などという声も増えてきました。私達は持続的で魅力溢れるまちとするために、次代を担う子供たちにもその価値を伝え郷土愛を育んでもらう必要があると考えました。しかし、郷土愛というのは決して押し付けて得られるものではありません。多方面から小樽の知識を高め、魅力を再認識し、関心を高めることで自然と湧き上がる郷土愛を感じてもらいたいと考えております。そのために、まずは私達青年会議所メンバーが子供たちにしっかりとその価値と誇りを伝えられるようになる必要があると考え、おたる案内人検定受験や3月第一例会「Otaruアナザーストーリー」歴史を知り、新たな小樽の魅力を磨き上げよう」を通して知識の向上と当事者意識の醸成を目指しました。そして、小樽の歴史・文化・自然を子供たちに伝える「出前授業」、学習した知識を基に自然を体感する機会として9月3、4日に「オープン事業 朝里川リバーウォーク」を計画致しました。スポットを当てた朝里川温泉地区は、小樽中心部より少し離れ、歴史的な文化遺産はほとんどありませんが、閑静な温泉郷には小樽で一番長い朝里川が流れ、それを取り巻く景観は絶景です。またスキー・ゴルフなどのスポーツも楽しめるアウトドア環境にも最適な自然があります。そのような環境の中で行う朝里川リバーウォークとは、川の中を子供たちが歩いてもらい、川の生態系や地域の自然を体感しながら小樽の新たな魅力を認識してもらう

2022年度、郷土愛育成委員会の委員長を務めさせていただきます。海・山・川に囲まれた豊かな自然環境、古くから北海道開拓、北前船、国際貿易の拠点として歴史と文化を形成してきたまち小樽は、道内有数の観光都市です。しかし、そんな豊富な資源を持ちながらも人口減少に歯止めがかからず、過去の歴史は「あまり聞いたことがない」などという声も増えてきました。私達は持続的で魅力溢れるまちとするために、次代を担う子供たちにもその価値を伝え郷土愛を育んでもらう必要があると考えました。しかし、郷土愛というのは決して押し付けて得られるものではありません。多方面から小樽の知識を高め、魅力を再認識し、関心を高めることで自然と湧き上がる郷土愛を感じてもらいたいと考えております。そのために、まずは私達青年会議所メンバーが子供たちにしっかりとその価値と誇りを伝えられるようになる必要があると考え、おたる案内人検定受験や3月第一例会「Otaruアナザーストーリー」歴史を知り、新たな小樽の魅力を磨き上げよう」を通して知識の向上と当事者意識の醸成を目指しました。そして、小樽の歴史・文化・自然を子供たちに伝える「出前授業」、学習した知識を基に自然を体感する機会として9月3、4日に「オープン事業 朝里川リバーウォーク」を計画致しました。スポットを当てた朝里川温泉地区は、小樽中心部より少し離れ、歴史的な文化遺産はほとんどありませんが、閑静な温泉郷には小樽で一番長い朝里川が流れ、それを取り巻く景観は絶景です。またスキー・ゴルフなどのスポーツも楽しめるアウトドア環境にも最適な自然があります。そのような環境の中で行う朝里川リバーウォークとは、川の中を子供たちが歩いてもらい、川の生態系や地域の自然を体感しながら小樽の新たな魅力を認識してもらう

新会員紹介



ありじ いつき
有路 樹

①生年月日 ②血液型 ③勤務先
④役職 ⑤会社住所 ⑥趣味

①平成9年6月30日
②B型
③自民党北海道第四選挙区支部
④秘書
⑤小樽市花園1-4-19
⑥ゴルフ、ドライブ、野球

ことを目的とした事業です。デジタル社会から離れ、自然資源を実際に体感する機会を創出すること、小樽中心部とはまた違う魅力と新しい可能性を感じられるような事業を構築したいと考えております。最後に10月第一例会で一年間の事業を検証・分析すること、常に新たな可能性を共有すること、継続的なまちづくりの意識を培います。本年の事業を通し、育んだ郷土愛を通じて子供たちと新たな小樽の可能性について考え共に成長し続けられるように、確かな熱意を持ちメンバー一丸となって進んでまいります。

小樽JC下半期スケジュール

7月22日～24日 7月第一例会 第56回おたる潮まつり	7月30日～31日 小樽サマーフェス2022	8月27日～28日 8月第一例会 地区大会南空知いわみざわ大会 (総務広報委員会)	9月3日～4日 郷土愛育成委員会 オープン事業 朝里川リバーウォーク	9月16日 9月第一例会 新会員例会 (席録会)	10月7日～10日 全国大会 おおいた大会	10月20日 10月第一例会 (郷土愛育成委員会)	11月9日 11月第一例会 57年組を送る会 (58年組)	12月2日 12月第一例会 次年度アワー (次年度三役)	12月18日 12月第二例会 褒賞例会 クリスマス家族会 (組織力向上委員会)
------------------------------------	---------------------------	---	--	--------------------------------	--------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--

小樽青年会議所 ホームページ・Instagram・フェイスブック
更新中！

編集後記

広報誌「いぶき」創立67周年記念号を発行させていただきました。当委員会ではいぶきの他、SNS、ホームページを活用して2022年度(一社)小樽青年会議所の活動報告やメンバーの紹介を行ってまいります。どうぞ、宜しくお願い致します。

総務広報委員会

委員長 平松 総一郎



Instagram



OTARU.JC.SINCE1955



QRコードよりフォロー宜しくお願いします★